

(様式2) 平成26年度東京都・荒川区 学力調査に関する結果分析シート

学校名 荒川区立第七中学校

学力調査名	調査前に記入	実施結果					
区学力調査 全学年	成果指標(具体的な数値指標)	区 達成率	自校達成率				
	平成24～26年度正答率・達成率の推移						
		国語	社会	数学	理科	英語	
	1年生	自校正答率	69	56.6	57.4	55.4	65.5
		区正答率	68.5	55.4	61	55.7	59.4
		平成26年度達成率	101%	102%	94%	99%	110%
	2年生	校内正答率	71.9	49.2	64.4	62.1	73.6
		区正答率	67.9	45.5	57.5	51.7	65.5
		平成26年度達成率	106%	108%	112%	120%	112%
	3年生	平成25年度達成率	102%	109%	101%	106%	107%
校内正答率		69.6	46.6	64.8	51.6	66	
区正答率		67.8	44.7	56	46.5	59.6	
平成26年度達成率		103%	104%	116%	111%	111%	
	平成25年度達成率	107%	105%	115%	113%	107%	
	平成24年度達成率	105%		105%			
	網掛け部分、全学年、全教科について3%向上させる。						
都学力調査 中学校2年 小学校5年	成果指標(具体的な数値指標)	都 正答率	自校正答率				
	平成26年度結果						
		国語	社会	数学	理科	英語	
	正 合 計	校内正答率	62.3	62.1	58.1	60.4	64.1
		都正答率	60.1	57.7	53.8	52.2	54.7
		達成率	104%	108%	108%	116%	117%
	A	校内正答率	64.5	65.2	62	61.9	72.5
		都正答率	61.6	60.4	56.9	54.4	62.3
		達成率	105%	108%	109%	114%	116%
	B	校内正答率	48.9	49.3	43	54.8	31.9
都正答率		50.7	46.7	42	44.2	25.6	
達成率		96%	106%	102%	124%	125%	
	全教科、A・B問題ともに平均正答率を上回る。						

平成26年度結果分析および具体的な方策

結果の分析

荒川区学力調査

1年生(27年度 2年生)

4月実施の国語・社会・理科についてはほぼ本区の平均であった。

数学は正答率にして3.6ポイント下回り、達成率としては94%であった。

12月実施の英語については5.1ポイント上回り、達成率としては110%であった。

例年の傾向から、各教科とも向上していることを期待している。

2年生(27年度 3年生)

1年次に比較して、4教科とも達成率を上回った。社会科についてはほぼ前年どおりと言える。全体的に向上している。

都学力調査

理科・英語については高い成果を得られた。特に、B問題で高成果を得られたことは特筆に値する。

一方、国語についてはB問題について平均を下回った。

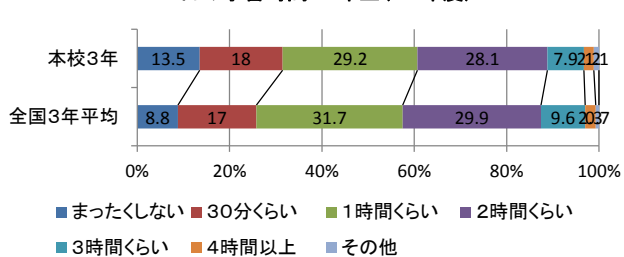
「資料の読み取り」「正確に伝えること」に課題がある。国語は全ての教科の基本になる教科であることから、補充が必要である。

具体的な方策

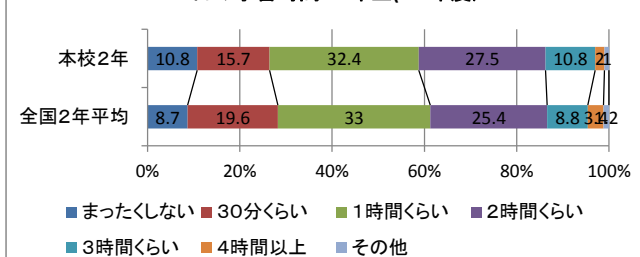
区意識調査学習時間の結果から2学年ともに学習時間は全国平均を下回っているが、正答率はほぼ区・都の平均を上回っていることから、授業が充実していると考えている。パワーアップを活用しての指導力向上策やQ-Uを活用した学級指導の成果と考えている。また、適正に少人数習熟度別指導、チームティーチングを実施している成果と考えている。

今後は、指導方法の工夫改善や学級指導の質を一層向上させるために、主幹・主任教諭を中心としたOJTを推進し、研修を継続させてより高い指導力の習得に努める。さらに、下の意識調査による学習の時間のグラフからも分かるように、家庭学習が不足していることからを充実させる指導を進める。そのために、まず、家庭学習の時間の確保のために規則正しい生活習慣を身に付けさせる。次に、各教科ごとに家庭学習の方法内容を指導して、一定の時間を学習する指導を行い成果の向上を目指す。

1日の学習時間 3年生(27年度)



1日の学習時間 2年生(27年度)



※「行の高さ」は変更していただいて構いません。